

科目名	法律学概論						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	文化学部	配当年次	2 年次	単位数	2 単位
教員名	寺川 史朗						

授業概要／Course outline

法がこの世の中でどのような役割を果たしているのかについて学びます。法とは何か、法体系とは何かといった法律学に接する上で必要となる基礎知識を身につけながら、憲法、行政法、刑法、民法、環境法、情報法など、法律学の諸領域において、「このような場合には、どのようにすればよいのか?」といったことを自ら考えることができる力を身につけるようにします。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

授業内容・授業計画／Course description・plan

- 第 1 回 テーマ：法とはなにか
規範、法、正義などを概観し、法律学の基礎を身につける。
- 第 2 回 テーマ：法体系と法の一般原則
法体系・法秩序と法の一般原則について学ぶ。
- 第 3 回 テーマ：公法と私法
公法と私法について概観し、その違いを理解する。刑法や民法に関する基本的知識を得る。
- 第 4 回 テーマ：憲法と立憲主義
憲法の特徴・役割や立憲主義の意味について学ぶ。
- 第 5 回 テーマ：人権とはなにか
人権の保障と制約原理について学ぶ。
- 第 6 回 テーマ：自由権と社会権
自由権から社会権へという歴史的展開について学ぶ。
- 第 7 回 テーマ：立法権と法
国会の地位・権限、および、法律の制定手続きについて学ぶ。
- 第 8 回 テーマ：行政権と法
内閣の地位・権限、および、議院内閣制について学び、立法部と行政部の関係を考える。
- 第 9 回 テーマ：司法権と法
裁判所の種類・組織・権限について学ぶ。
- 第 10 回 テーマ：裁判と刑法
裁判例を扱うことを通じて、刑法の役割・特徴を理解する。
- 第 11 回 テーマ：裁判と民法
裁判例を扱うことを通じて、民法の役割・特徴を理解する。
- 第 12 回 テーマ：地方自治と法
地方自治の意義を学び、地方公共団体の組織・運営・権限について理解する。
- 第 13 回 テーマ：行政組織・行政活動と法
行政活動を規律する法領域について学ぶ。
- 第 14 回 テーマ：環境・情報と法
環境権と環境保全、情報公開と個人情報保護に関する法領域について学ぶ。
- ★オンデマンド テーマ：全体のまとめとふりかえり
個別のテーマをふりかえりながら、法や法律の機能と役割を理解する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

- 第 1 回 テーマ：法とはなにか
事前学修：教科書第 1 講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第 2 回 テーマ：法体系と法の一般原則
事前学修：教科書第 2 講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第 3 回 テーマ：公法と私法
事前学修：教科書第 3 講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）

- 事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第4回 テーマ：憲法と立憲主義
- 事前学修：教科書第4講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第5回 テーマ：人権とはなにか
- 事前学修：教科書第11講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第6回 テーマ：自由権と社会権
- 事前学修：教科書第12講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第7回 テーマ：立法権と法
- 事前学修：教科書第5講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第8回 テーマ：行政権と法
- 事前学修：教科書第7講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第9回 テーマ：司法権と法
- 事前学修：教科書第6講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第10回 テーマ：裁判と刑法
- 事前学修：教科書は使用しないため、前回授業中に配付する資料を通読する。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：配付資料を精読し、刑法の役割と特徴を十分理解する。（所要時間の目安：60分）
- 第11回 テーマ：裁判と民法
- 事前学修：教科書は使用しないため、前回授業中に配付する資料を通読する。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：配付資料を精読し、民法の役割と特徴を十分理解する。（所要時間の目安：60分）
- 第12回 テーマ：地方自治と法
- 事前学修：教科書第10講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第13回 テーマ：行政組織・行政活動と法
- 事前学修：教科書第8講・第9講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：理解を深めるため講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- 第14回 テーマ：環境と法
- 事前学修：教科書第13講・第14講を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：理解を深めるため各講末の「理解できたかチェックしよう」に取り組む。（所要時間の目安：60分）
- ★オンデマンド：全体のまとめとふりかえり
- 事前学修：教科書全体をふりかえり、法や法律の機能と役割を理解するうえで「とくに重要な箇所」をマークする。（所要時間の目安：120分）
- 事後学修：定期試験対策に取り組む。（所要時間の目安：60分）

授業の到達目標／Expected outcome

- ・法についての基礎的知識を身につけることができるようになること。
- ・法の目的が私たちの生活や人権を守ることにあるという理解の上に立ち、国家権力作用がどのように機能するべきかについて自ら考えることができるようになること。
- ・法を解釈し、創造するのは自分たちであるという認識の上に立ち、より良い社会を築き上げるためにはどのような姿勢で臨み、どのような考え方を披露すればよいのかについて自らの立場を発見していくことができるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
 - ・倫理性
- 専門知識・専門技能
【文化学部 京都文化学科】
・文化の多様性の理解

履修上の注意／Special notes, cautions

教科書に沿って授業を行いますので、各自で教科書を用意してください。
教科書は公法を中心に書かれています。刑法や民法を扱うときは授業のなかで適宜条文を紹介します。
六法は必要ありません。

評価方法／Evaluation

定期試験（筆記試験）100%
* 授業形態の変更などのため、シラバス作成時点（2026年1月30日）より以降、評価方法が変更される場合は別途

指示します。

教 材／Text and materials

教科書：小泉洋一・島田茂編『公法入門 第3版』（法律文化社、2021年）

質問や相談の方法／Instructor contact

授業終了後に質問や相談をしていただくとよいです。